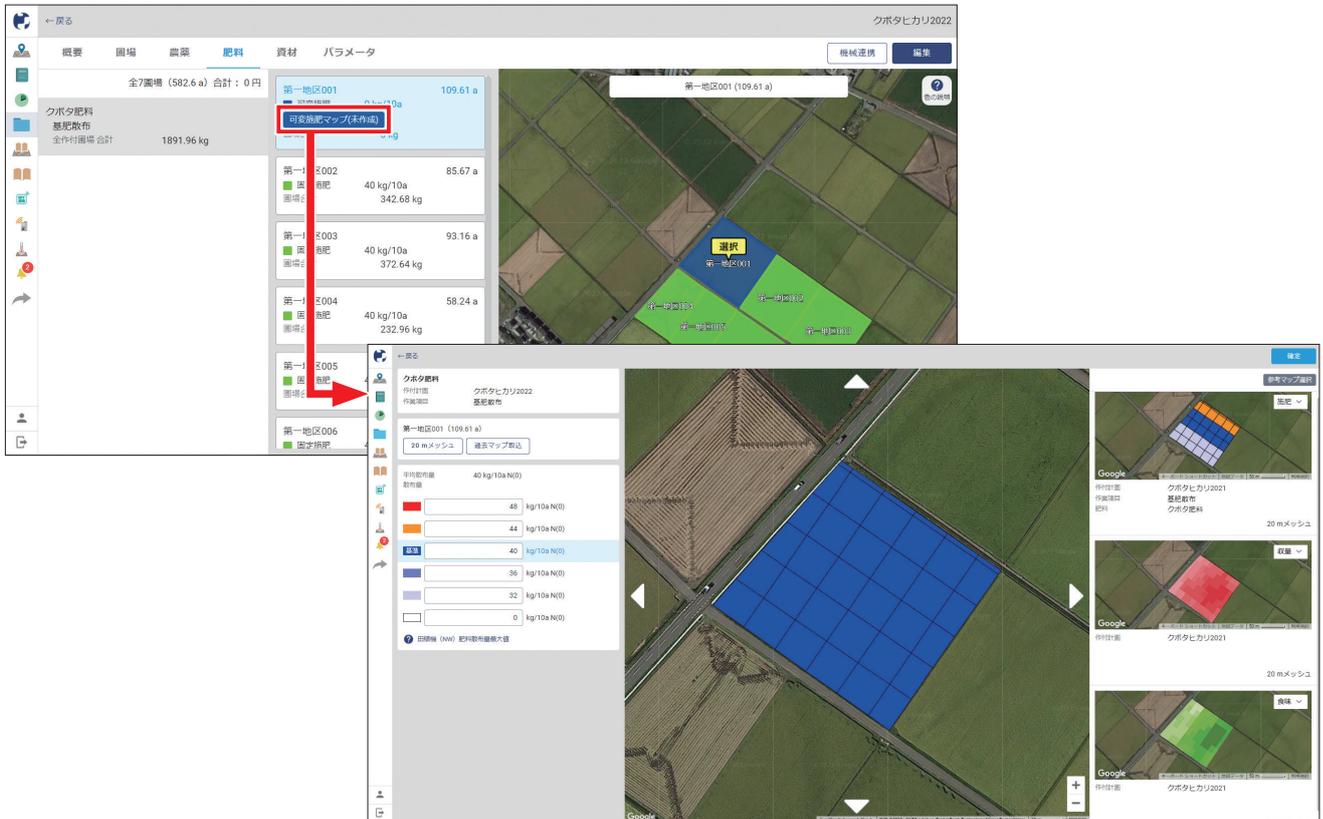


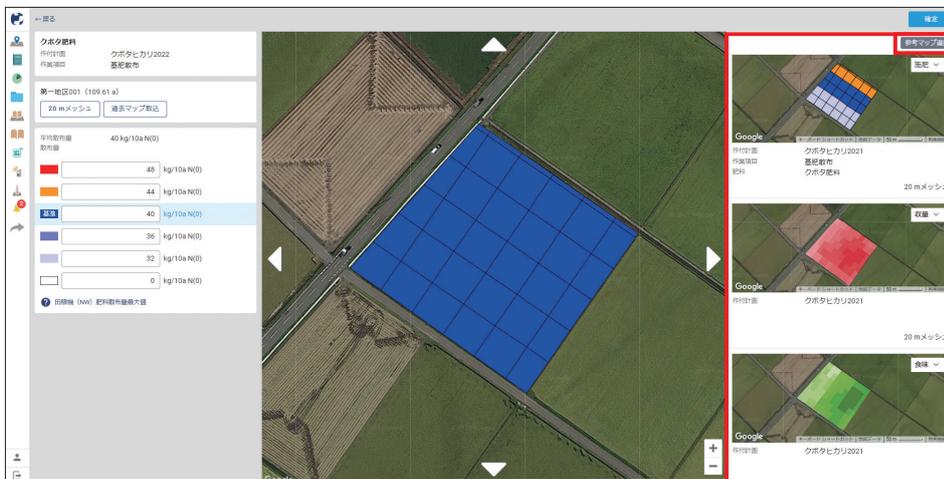
可変施肥マップ

1 可変施肥マップ初期画面



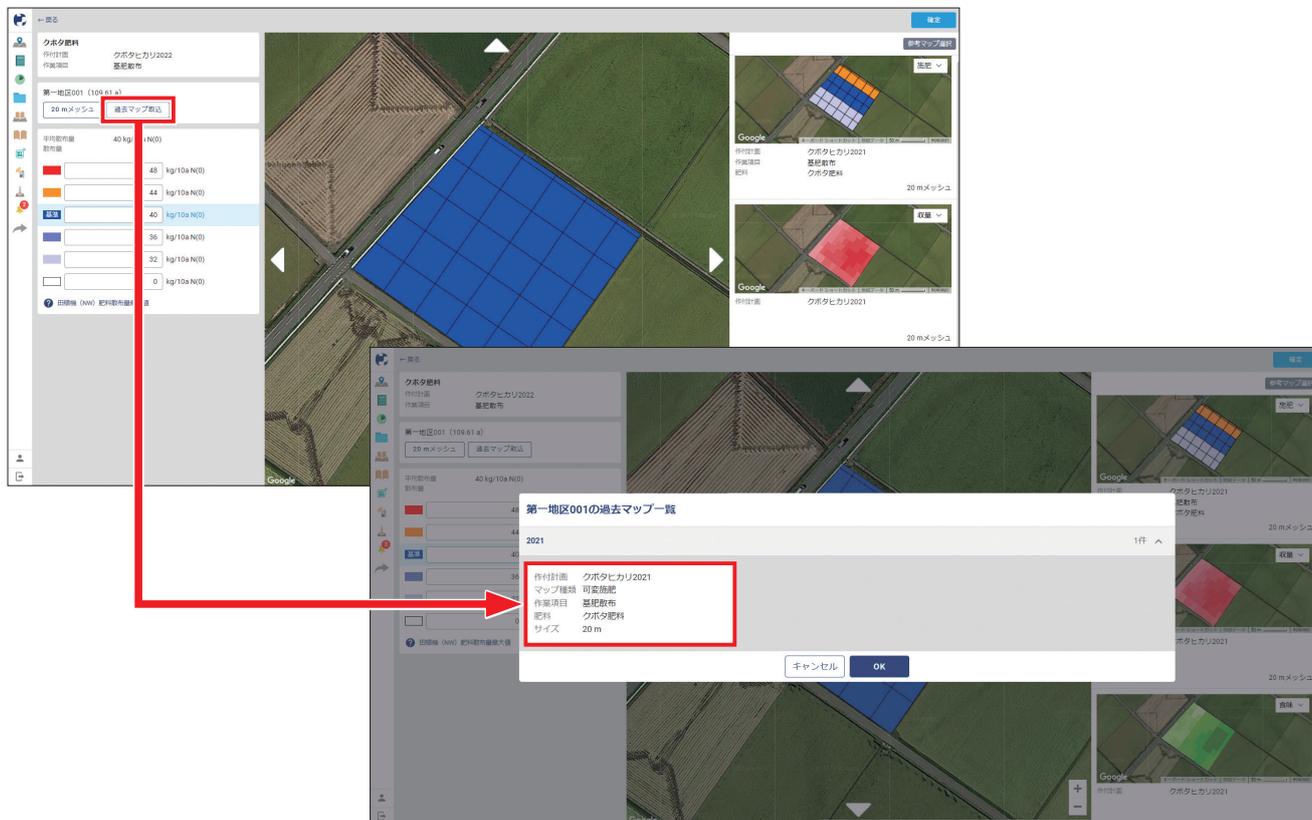
「可変施肥マップ (未作成)」をクリックすると、可変施肥マップを作成する画面が開きます。

2 参考マップ



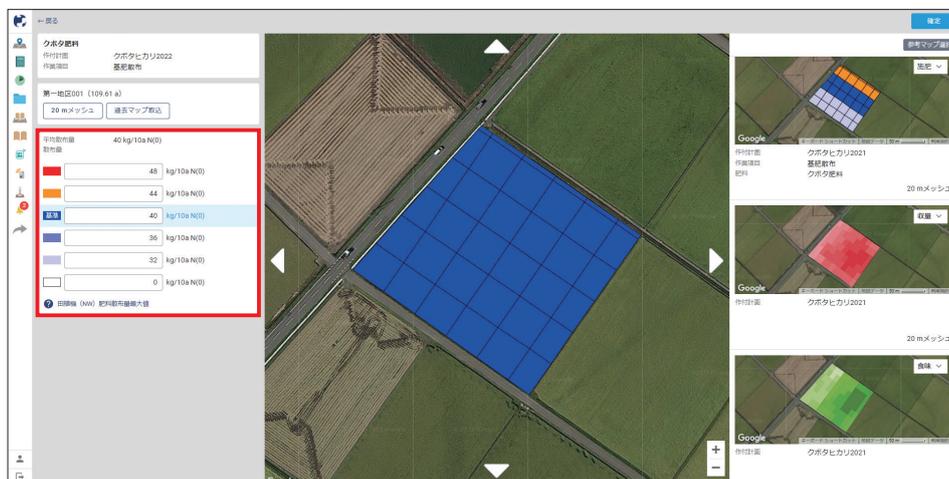
過去に作成した同じ圃場の可変施肥マップや食味収量メッシュマップがあれば、右側に直近3つが表示されます。過去のものを選択したい場合は「参考マップ選択」をクリックして、表示したいマップを選択します。

3 過去マップ取込み



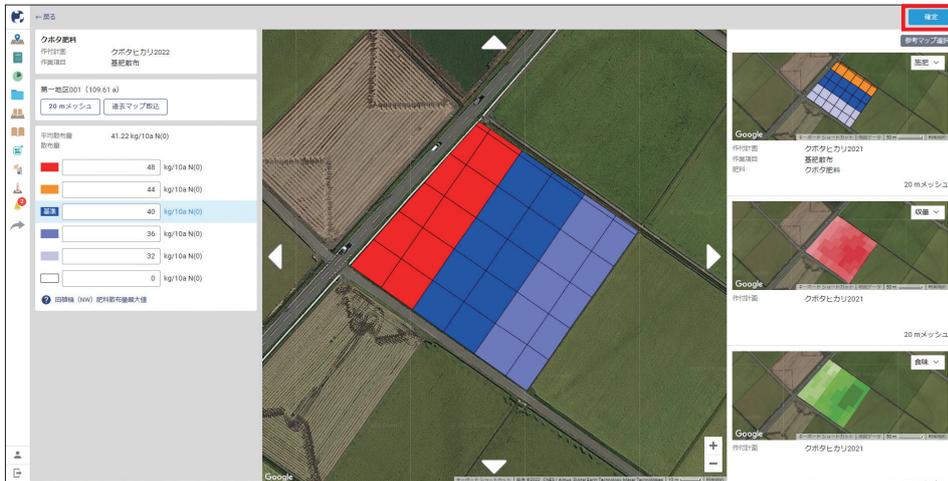
過去に作成した同じ圃場の変態施肥マップがあれば、そのまま今回の可変施肥マップに反映することができます（その後修正も可能です）。

4 可変施肥量の設定



設定している施肥基準量から2割増～2割減・施肥量ゼロが設定されていますが、手動で数値を入力し変更することも可能です。

5 可変施肥マップ作成

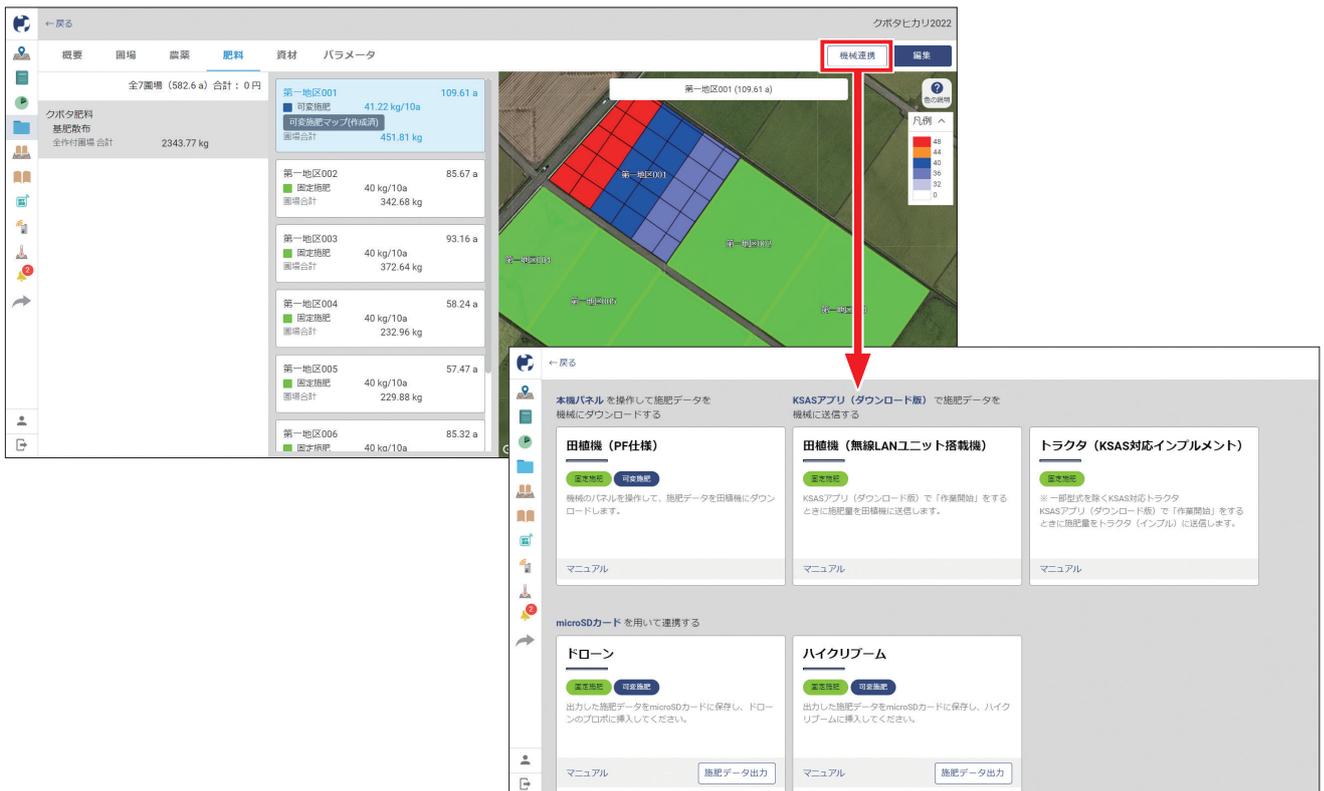


施肥量(色)を選択した状態で、メッシュ上をドラッグして可変施肥マップに色を塗ります。完了したら「確定」をクリックしてください。

メッシュサイズは下記の通り設定可能です。

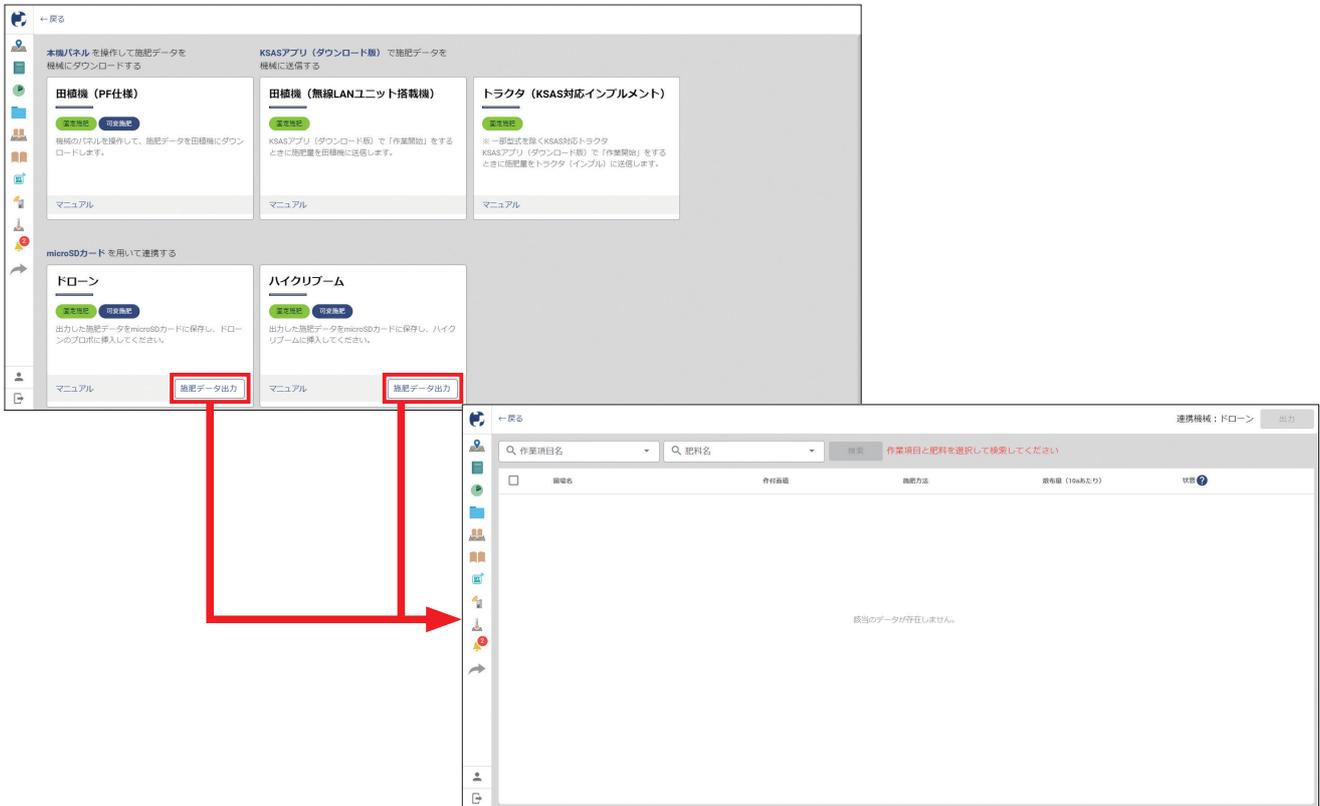
田植機：20m/15m/10m/5m、ドローン：10m/7.5m/5m、ハイクリブーム：15m/7.5m

6 機械連携



「肥料」画面に戻り、「機械連携」をクリックすると、各機種との連携方法が表示されます。

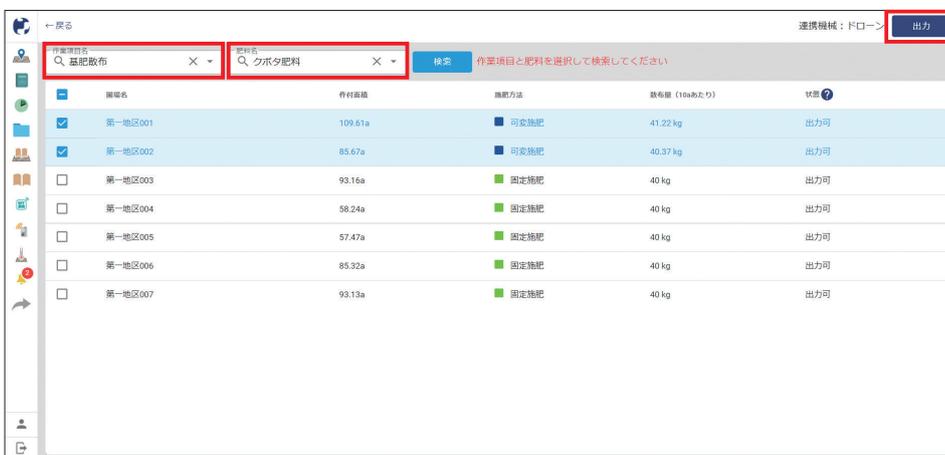
7 ドローン・ハイクリブーム 施肥データ出力



「施肥データ出力」ボタンをクリックしてください。

※該当機をKSASに紐づけていない場合、ボタンをクリックすることができません。

8 圃場選択・出力



作業項目名と肥料名を選択して検索し、出力したい圃場にチェックを付けて「出力」をクリックしてください。